



●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp

2016年10月 vol.48

住民投票の成果を次のステップへ 市民がつくるこれから

今年の8月に行われた総合運動公園基本計画に対する住民投票では、投票した市民の8割が計画に反対という結果でした。これを受け、計画は白紙撤回になりました。305億円というあまりに大きな事業を強引に進めようとすると市長に市民がNO！を突きつけたと言えるでしょう。

検証は時間切れ... 計画再浮上のおそれも

住民投票後、つくば市議会では「総合運動公園に関する調査特別委員会」を立ち上げました。つくば・市民ネットワークは、二度と同じ失敗を繰り返さぬため、この事業が押し進められた経緯を追究しました。しかしすべてを検証しきれないまま調査特別委員会は時間切れとなりました。今後のスポーツ施設のあり方についても意見がまとまらず、各派の意見が併記された報告となりました。また、計画を強く進めようとしていた議員が市長選に立候補を表明しており、計画の再浮上もありうる状況です。

総合運動公園用地の借金

66億円の利息は年々積み重なっています。11月の市長選挙に現市長は立候補しないとすでに明言しています。つまり、66億円の土地とスポーツ施設の在り方という重い課題が、次の市長に丸投げされたという事です。市原市長の無責任さには怒りを覚えますが、これを転機として市政運営を根本から変えることが、住民投票の経験を活かすことになると考えます。

住民投票の成果を活かし 民意を反映する市政へ!

つくば・市民ネットワークは、市民の意見を集め市民がのぞむ方向を議論しながら見出していく地方自治を目指しています。総合運動公園問題についてもこのような姿勢で取り組んできました。11月の選挙はつくばの未来を決める大事な選挙です。つくばを変えられるか、変えられないか、大きな岐路に立っています。各候補者の政策や総合運動公園問題についての考え方を知って、多くの市民が投票に行くことが重要です。それが新しい市政への第一歩です。

総合運動公園の用地購入 <2014年3月議会 議決結果> 50音順、赤はつくば・市民ネットワーク

賛成	反対
飯岡 宏之	うの のぶこ
大久保 勝弘	神谷 大蔵
小野 泰宏	北口 ひとみ
木村 清隆	久保谷 孝夫
木村 修寿	黒田 健祐
鈴木 富士雄	小久保 貴史
須藤 光明	五頭 泰誠
高野 進	塩田 尚
塚本 洋二	滝口 隆一
浜中 勝美	田中 サトエ
古山 和一	橋本 佳子
松岡 嘉一	皆川 ゆきえ
柳沢 逸夫	ヘイズ・ジョン
山本 美和	

議長：金子 和雄

たつお いがらし立青氏と意見交換しました 市民の声が活かせる市政を!

つくば・市民ネットワークの小森谷さやか、皆川ゆきえ、うののぶこ、北口ひとみは、今後の市政について、いがらし立青氏と意見交換しました。

うの：昨年の総合運動公園の住民投票では、つくば市が抱える様々な課題が見えてきました。

五十嵐：私も住民投票の会の世話人として活動しましたが、まずは市民の声を聴くつくば市に変えていきたいと思えます。それには市民参加のしくみを作り、浸透させる必要があります。

皆川：4年前の市長選の後、どのような活動をしていたんですか？

五十嵐：市内の各地域を周り、直接話を伺いました。バス・保育所・介護・街灯...と放置される課題に多くの人が悲鳴のような声を上げています。

小森谷：4年間そのような活動を続けたことで、自分自身変わったところはありましたか？

五十嵐：自分の視野の狭さに気付かされると同時に、市民の困っていることや地域の課題を理屈ではなく、肌で感じる事ができました。

北口：五十嵐さんがまちづくりで大切にしているのはどのような考え方ですか？

五十嵐：一番大切にしているのは、誰もが排除されず、つながって安心して暮らせるまちを目指すことです。そのために皆で問題が何かを考え、その解決策を考えて活動していきたいと思えます。



最後に、いがらし立青氏とつくば・市民ネットワークは、市民の声を聞き、問題をみんなで解決できる市に変えていきたいと思います。市政への熱い思いを確認し合いました。

(左から、いがらし立青氏、小森谷さやか、皆川ゆきえ、うののぶこ、北口ひとみ)

つくば・市民ネットワーク

街頭演説会

11月26日(土) 13:00~
つくばセンター広場

つくば市議会議員

皆川ゆきえ

つくば市議会議員

北口ひとみ

つくば・市民ネットワーク代表

瀬戸裕美子

つくば・市民ネットワーク運営委員

小森谷さやか

つくば市議会議員

うののぶこ

つくば・市民ネットワーク事務局長

永井悦子

国道6号バイパス延伸 住民不安への対応は？

現在、西大井の408号線で止まっている国道6号バイパスが高崎までの1.9km延伸が決まりました。バイパスが延伸されると、既存道路の分断や、接続される県道の危険性増大が心配されます。

そこで、市としての対応を尋ねたところ、「現在、西大井、菅間、高崎の3地区から既存道路の機能確保等の要望が出ており、市としても事業主体である常総国道事務所と設計協議の中で調整を行う。」「バイパスと接続される県道谷田部牛久線は通学路でもあるが、道幅がせまく、バイパス開通後は交通量の増大が見込まれており、安全が確保されるよう県へ要望していく。」という答弁でした。

県道谷田部牛久線は今でも危険な箇所が多いので、PTA等にも確認し、通学路の安全確保と住民の不安に答えられるよう、国や県との窓口としてしっかりと対応して頂きたい、と要望しました。



万博記念公園駅 学校の建設はいつになる？

TX沿線では次々と学校建設が進んでいますが、万博記念公園駅の学校についてはどのような状況でしょうか。当該学区の島名小では児童数が急増し、「グラウンドでボール遊びができなくなった。」という声も届いており、今議会で状況を確認しました。

教育局からは、「学校等適正配置計画」に基づき、万博記念公園駅周辺の学校新設はH31年度からの検討開始となっており、土地の購入など、まだ具体的には進めていないという回答を得ました。さらに、島名小は教室が不足し校舎を増築したばかりですが、H30年度ごろには教室が足りなくなることも判明しました。

「新しい学校ができる」と万博記念公園駅周辺に引っ越した方もいます。子ども達が、のびのびと活動し、健やかに成長し、教育効果を最大にするためには、児童・生徒数に対して適正な規模の学校環境が必要です。今度は後手に回らないようにしなければなりません。現状をふまえ、学校建設について早急に検討することを要望しました。



つくば市議会議員
環境経済常任委員

皆川ゆきえ

一般質問項目

- ・TX沿線地区の小中学校設置について
- ・つくば市奨学金について
- ・道路上の動物死骸処理について
- ・国道6号バイパス延長に伴う道路整備について



公共交通も、地域包括ケアも、交流センターも… 今のつくば市に必要なのは当事者目線!

1 公共交通の改善に、もっと当事者目線を!

高齢化の進んだあちこちの住宅団地で「バス停がなく、車が運転できなくなったら生活できない」という声が多く聞かれます。バス停新設などの要望にどう対応しているか質問しました。

担当部長は「新規路線の増設等は、エリアの人口、地域のニーズ等を分析し、必要性を検証し、その結果を公共交通活性化協議会（以下、協議会）で協議している」と答弁。しかし協議会では行政が対策を決めた要望だけを協議しており、市民から出た要望がすべて検討されているわけではありません。また協議会の委員は車で移動できる人ばかり。公共交通を必要としている当事者の目線が欠けています。そこで「協議会に公募の市民委員を入れる」「市民の要望はすべて協議会で検討する」の2点を提案しました。

2 地域交流センターをコミュニティ形成の拠点に

公民館から地域交流センターに変わって6年。変える根拠として策定された地域交流センター基本計画には、講座やサークルの貸室等生涯学習の役割だけでなく、地域コミュニティの形成に寄与すると書かれています。現状と課題を訊ねたところ、

「地域の活力を促す、世代間交流を促す、地域内交流を促す、という目標は達成できていない」と答弁。それこそが交流センターに変える大きな目的だったはずなのに。

つくば市は、地域によってコミュニティの課題が大きく異なります。だからこそ、変えた時の目的に立ち戻り、地域交流センターをコミュニティ形成の拠点としてしっかり活用してほしいと要望しました。

3 地域包括センターを分散し、高齢者支援は地域で

高齢者相談や介護予防、認知症対策などの核となる地域包括支援センターを、つくば市は市役所1か所に集中させています。それでは地域が見えず取り組みが進まない、と市民ネットでは地域ごとの設置を求めてきました。今回、「市内7つの日常生活圏域ごとの配置を早期に検討する」と答弁があり、やっと一歩前進です。

今後は地域ごとのセンターを拠点に、専門職の連携だけでなく、地域住民が関係者と共に話し合う場も設ける等、オープンに進めてほしいと要望しました。



つくば市議会議員
文教福祉常任委員会副委員長

宇野 信子

一般質問項目

- ・公共交通の充実について
- ・地域交流センターについて
- ・地域包括ケアについて



2016年9月議会 議決結果

市民ネット3名で提案した修正案は、アイラブつくばまちづくり寄付金にふるさと納税の仕組みを導入する事業と乳児へのB型肝炎予防接種事業について予算を削除する内容です。成功の見込みのないふるさと納税へ経費をかけるのは不適切である、また発生率の非常に低いB型肝炎予防のために、乳幼児に対するリスクを高める必要があるのか慎重に検討すべきと判断しました。

全会一致で「研究学園地区およびTX沿線開発地域における集会施設が新設されるまでの間、市庁舎の会議室を住民の集会場として使用できるようにすることを求める請願」は趣旨採択、「教育予算の拡充を求める請願」は採択となりました。

議決の結果 (○：賛成、×：反対)	会派名	つくば・市民ネットワーク	つくば市民政策研究会	つくば自由民主党・維新の会	統一会派つくば政清会・民主党の会	公明党	日本共産党	新社会党	筑峰クラブ	山中八策の会
平成28年度つくば市一般会計補正予算に対する修正案	否決	○	×	×	×	×	○	○	×	
水道料金の大幅値上げストップを求める請願	不採択	○	×	×	×	×	○	○	×	
各会派の所属議員(敬称略) *は会派代表 (議員数27 議長:塩田)		*北口 宇野 皆川	*古山 須藤、柳沢 高野、松岡	*五頭 久保谷、神谷 小久保、黒田	*塚本 大久保、木村修 飯岡、木村清	*小野 浜中 山本	*滝口 田中 橋本	*金子	*鈴木	*塩田 (議長)



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長

北口ひとみ

一般質問項目

- ・竹園3丁目地域拠点再構築について
- ・中心市街地の都市再生について
- ・農業振興とソーラーシェアリングについて



議論なく、竹園西にも施設一体型小中一貫校?!

再開発を進めるか否かの判断を行うために、竹園ショッピングセンター周辺の再構築案づくりが進められています。対象地区は、つくば市、(株)筑波都市整備、(独)都市再生機構、筑波技術大学の4地権者の所有で、一部の地権者の意向により今年11月までを期限として結論を出したいとのこと。

今年1、2月に市民ワークショップ(参加型提案づくり)があり、特に再構築に伴い施設一体型小中一貫校に建て替える点について、竹西小はどうなるのか、学区設定や考え方を先に議論・検討すべきと拙速な進め方に疑問を呈する声が多く出されていました。

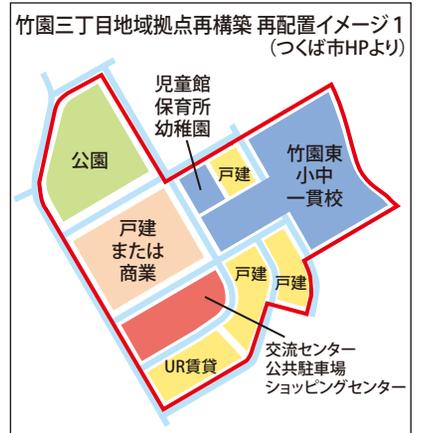
その後、6月議会で「7月上旬までに再配置案の整理を行う」「市民の意見は可能な限り反映させたい」旨の答弁があったにもかかわらず、案が公表されたのは9月初旬。しかも、竹園西・東それぞれへ同時期に施設一体型小中一貫校を作る、竹東小中一貫校については現在の総面積よりも狭くなるという案が提示されたのです。

11月までという期限がある中、案の公表が2か月も遅れ、しかも反対意見の多かった施設一体型の小中一貫校への建て替

えや、学校など公共施設の敷地面積は縮小されています。この9月初旬の竹園東中学校区内の自治会とPTAのみを対象にしたタウンミーティングでは「現状のゆとりある教育環境が維持できないこの案はとうてい容認できない」という意見が相次ぎました。9月下旬に、竹園交流センターにご意見箱が設置されたり、竹園東中学校区だけにアンケートが行われました。しかし、たとえ意見が出されても11月の期限を考えると、大きく見直すつもりはないと思われます。

TXつくば駅からほど近い竹園ショッピングセンター周辺の再構築は、周辺住民だけではなく、中心市街地全体のまちづくりの問題です。

市民ネットは引き続き、丁寧な説明や意見交換の場を設けるよう働きかけていきます。



アンケートへのご協力ありがとうございます!(中間報告)

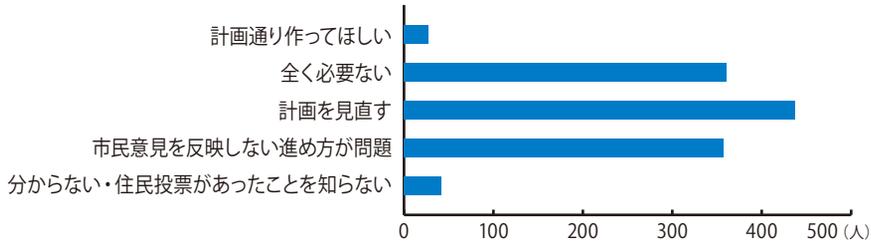
8月から市民ネットで行っている「総合運動公園と暮らしのアンケート」「駅前駐車場と公共交通についてのアンケート」の一部について中間報告をします。

いただいたご回答、ご意見をこれからの活動、議会での提案に活かしていきます。

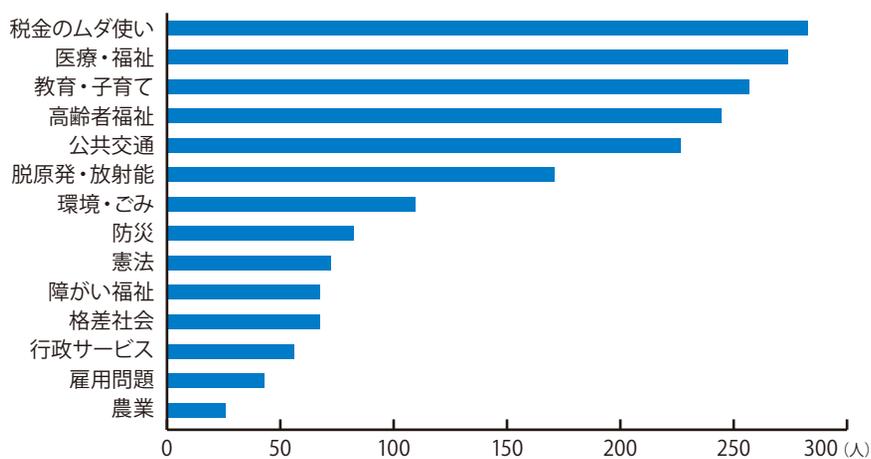


総合運動公園と暮らしのアンケート (回答数938人)

Q.総合運動公園計画についてどうお考えですか?(複数回答あり)



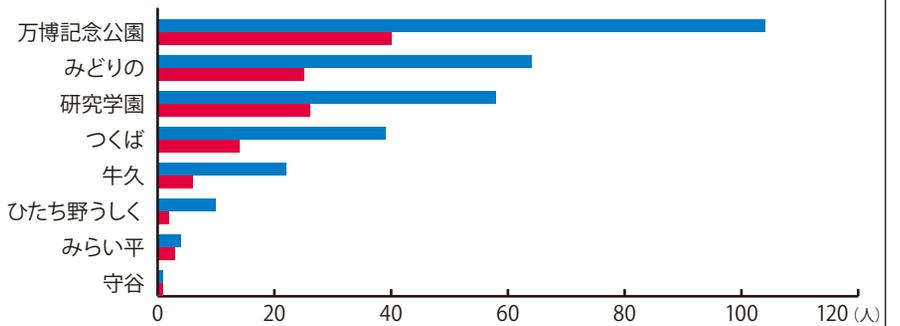
Q.暮らしの中で気になっている項目は?(3つまで)



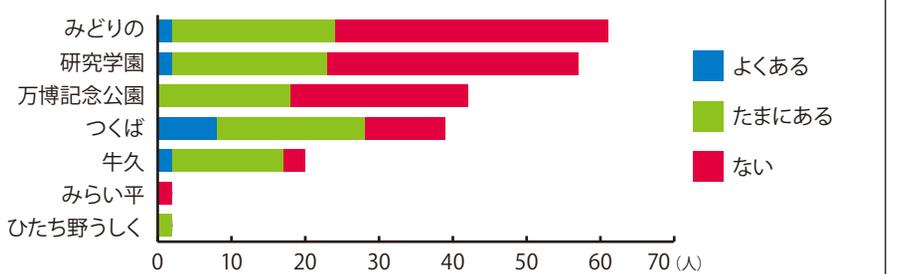
駅前駐車場と公共交通についてのアンケート (回答数507人)

Q.よく使う駅は?(複数回答あり)

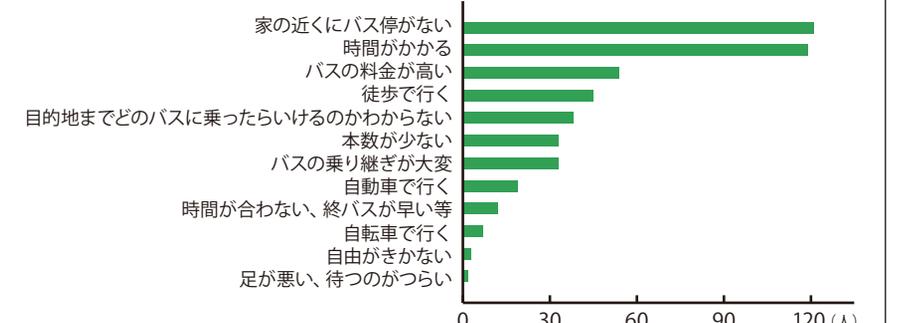
Q.駅前駐車場に停められなくて困ったことが「ある」



Q.自宅から駅までバスなどの公共交通で行ったことがありますか?



Q.バスを使わない理由は?(複数回答)





●議員は原則2期8年で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

つくば・市民ネットワーク通信

2016年10月 vol.48

発行：つくば・市民ネットワーク
Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F
tsukubahotnet@ybb.ne.jp
http://tsukuba-net.jp

つくば・市民ネットワークは

おまかせにしない、**市民**がつくる**市民**の政治 をめざしています

情報公開

大事なことは私たち(市民)が決める

人と人をつなぐ

つくば・市民ネットワークの政策と取り組み・実現したこと



市民自治ができるまちづくり

- ◆総合運動公園住民投票で基本計画白紙撤回へ **2015年**
- ◆一般競争入札の全面導入 **2012年**
- ◆議会改革(本会議インターネット中継・一問一答方式・各議員の賛否公開・議会主催の議会報告会開催) **2011年～**
- ◆風車問題について議会で追及・検証へ **2005～2008年**

2014～2015年は総合運動公園問題に集中

●市民の声を聞く・集める

総合運動公園に関するアンケート実施(規模縮小・必要ないが75.5%)、住民投票に関するアンケート実施、総合運動公園見直しの署名を集める

安心・安全な食と農業の推進

- ◆「つくば市遺伝子組換え作物の栽培に係る対応方針」づくり **2006年**
- ◆大豆畑トラストinつくばスタート **2006年**

●調査する

用地取得関連(不動産鑑定・意思決定の過程)、基本構想・基本計画の問題点、類似施設との比較、補助金の現状など

子どもの健やかな成長を支える環境づくり(教育・子育て)

- ◆保健師・助産師・看護師による“あかちゃん訪問”の全戸実施 **2009年**
- ◆市内全小学校へ司書教諭補助員を配置 **2006年**



●市民の声を代弁

調査したことを元に議会で質問・追及

高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる地域づくり

- ◆地域包括支援センターを地域ごとに配置する検討開始 **2016年**
- ◆特別支援教育支援員の増員



●情報を発信

調査活動や議会で得た情報を発信(市民ネット通信・議員と話そう会など)

住みやすいまちづくり

- ◆学園地区の住宅地に高さ制限(高度地区) **2007年**
- ◆独自の公共交通アンケートを実施し、集まった意見から改善を提案

●市民の意思で市政を動かす

住民投票の実現(反対8割) →基本計画の白紙撤回へ

環境を守り、循環型社会をつくる

- ◆土砂等の埋め立て条例の厳格化 **2016年**
- ◆ダンボールコンポストを紹介、講習会開催 **2009年～**
- ◆レジ袋無料配布の中止協定を実現 **2008年**

脱原発を実現し、自然エネルギー中心のまちづくりと放射能汚染対策

- ◆福島原発事故避難者の住宅支援の継続を求める意見書を提案 → 議会で可決し国に提出 **2014年**
- ◆放射線測定器(ゲルマニウム半導体検出器)設置 **2013年**
- ◆放射能汚染から子どもを守ろう@つくば立上げ **2011年**

立憲主義を堅持し、憲法の3原則(基本的人権の尊重、国民主権、平和主義)を守る

- ◆集团的自衛権の行使を憲法の解釈変更で行わないことを求める意見書を提案 → 議会で可決し国に提出 **2014年**



- ◆アンケートを実施し政策につなげる
- ◆講演会、学習会、市民フォーラムの開催
- ◆請願・署名活動
- ◆市民活動の立ち上げおよび支援
- ◆テーマ別の部会活動
- ◆毎年、政策提案を市に提出
- ◆他団体との連携 など

議会や市の動きなど
情報を発信
しています

市民ネットでは2004年から
議員の賛否を調査し
公表しています

